

第5回 勢田川流域等浸水対策協議会

一級河川宮川水系（指定区間） 河川整備計画について

令和元年12月25日



■ 汁谷川の概要



項目	内容		備考
水系	一級河川 宮川		
流域面積	11.68km ²		菱川含
汁谷川	一級区間	1,160m	
	準用区間	1,470m	
支川 (菱川)	河道	1,070m	準用河川
	流域面積	5.04km ²	

汁谷川

- 伊勢市北部を流れる宮川の支流のひとつで、離宮院の近くを流れることから、離宮川とも呼ばれている。沿川には伏流水が湧き出ているところもあり、子どもたちの遊び場となっている。

「宮川流域ルネッサンス協議会HP」より



■河川の整備状況（汁谷川）



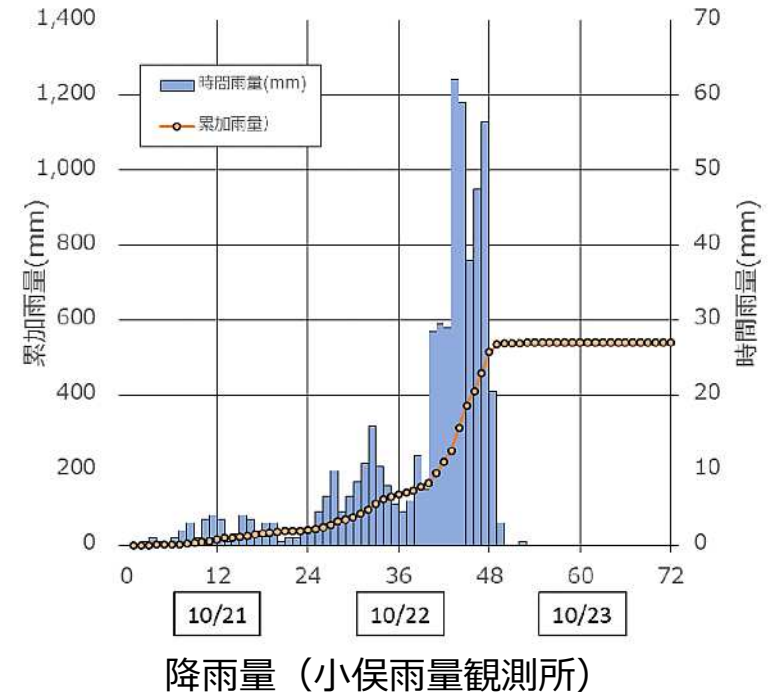
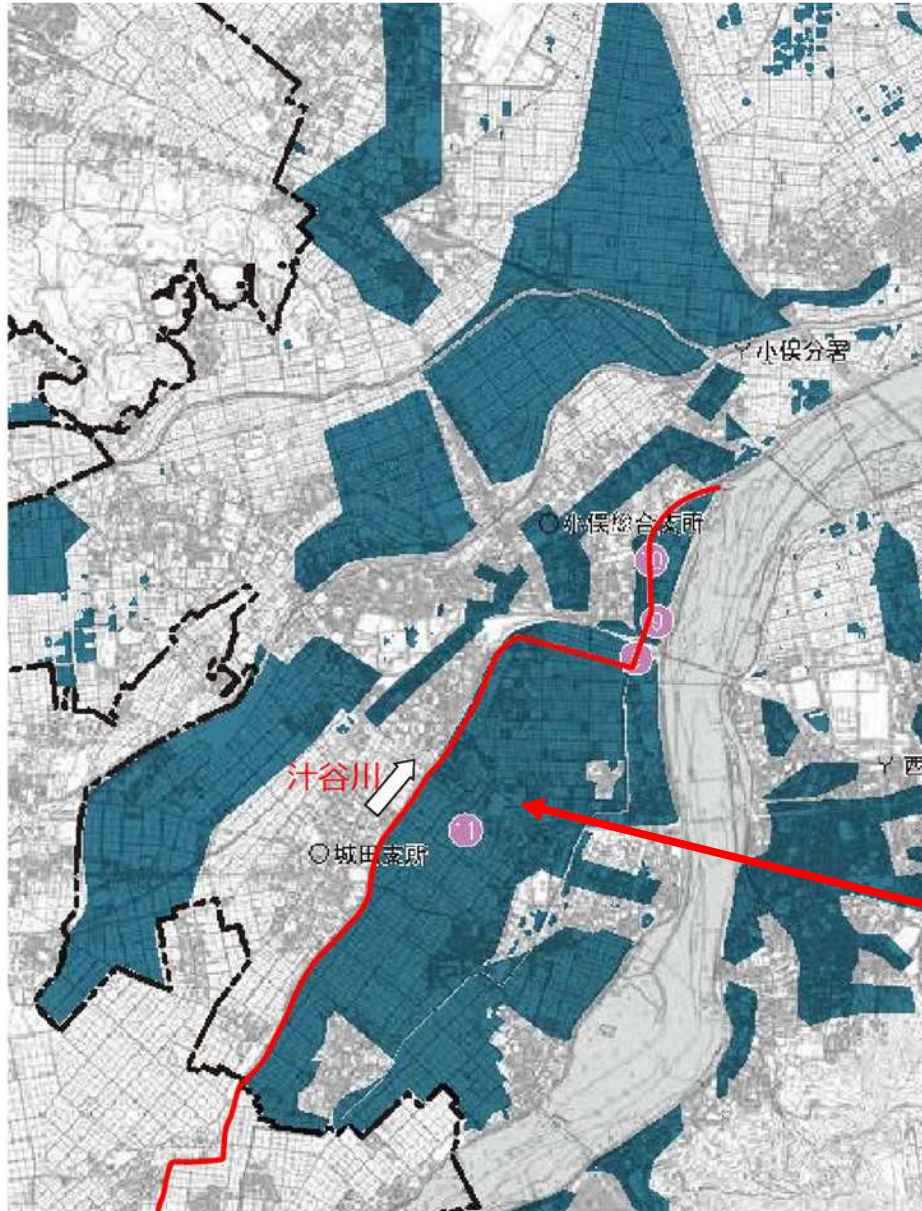
- これまでに治水計画は未策定
- 汁谷川の河道改修は昭和30年代より農地の排水改良事業として河川（排水路）改修を実施
- 昭和45年に県営宮川改修事業により水門設置
- 昭和54年に汁谷川湛水防除事業により排水機場設置
- 平成8～12年度に県営新生産調整推進排水対策特別事業により排水機場の増設、一級区間上流部の河川改修を実施



■主要洪水の概要（汁谷川の浸水実績）



□ 平成29年10月21日台風第21号



伊勢市小俣町宮前地先

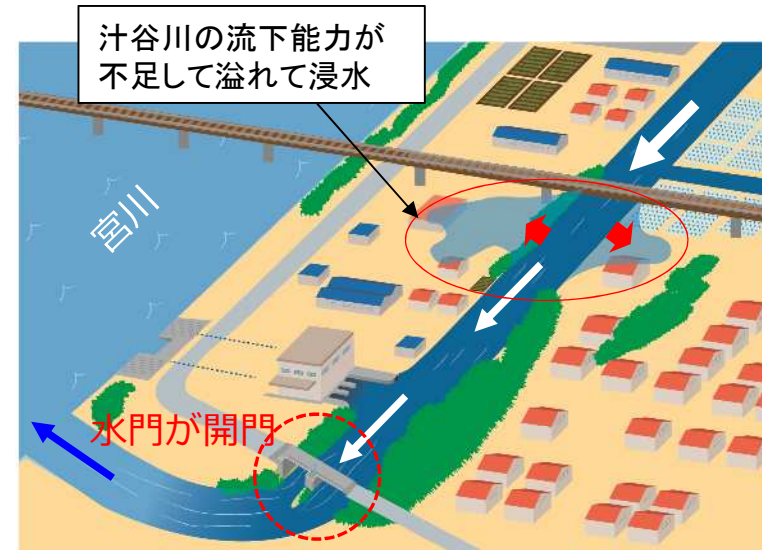
■主要洪水の概要（汁谷川の氾濫要因）



□ 汁谷川における氾濫の要因

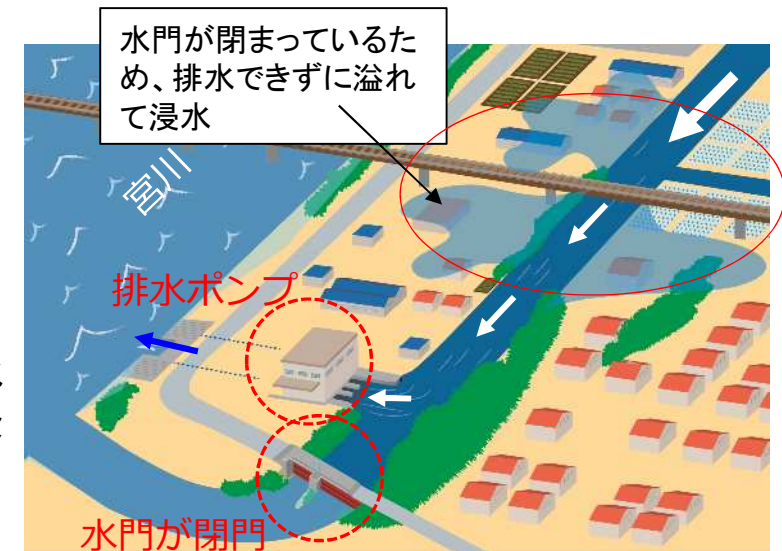
■ 汁谷川の外水氾濫（宮川の水位が汁谷川より低い場合）

- 宮川の水位が汁谷川より低い場合、汁谷川の流域に降った雨は、汁谷川を流れて宮川に自然排水されます。
- 汁谷川の流下能力を超えた雨が発生すると、堤防の低い部分から溢れて、流域に浸水被害が発生します。
- 汁谷川の外水が溢れて浸水するため、「汁谷川の外水氾濫」となります。



■ 宮川に対する内水氾濫（宮川の水位が汁谷川より高い場合）

- 宮川の水位が汁谷川より高い場合は、宮川の洪水が汁谷川に逆流しないように、水門を閉鎖します。
- この時、汁谷川流域に雨が降ると、汁谷川から宮川に自然排水されずに河道内に貯留されます。
- 貯留された水は、流末の排水ポンプで宮川に排水しますが、排水ポンプの能力を超えた雨が発生すると、河道内に貯留した水位が上がり、溢水したり、流域に降った雨が川に排水できなくなり浸水被害が発生します。
- 汁谷川（支川）の洪水が宮川（本川）に排水できなくなり溢れて浸水するため、「宮川に対する内水氾濫」となります。



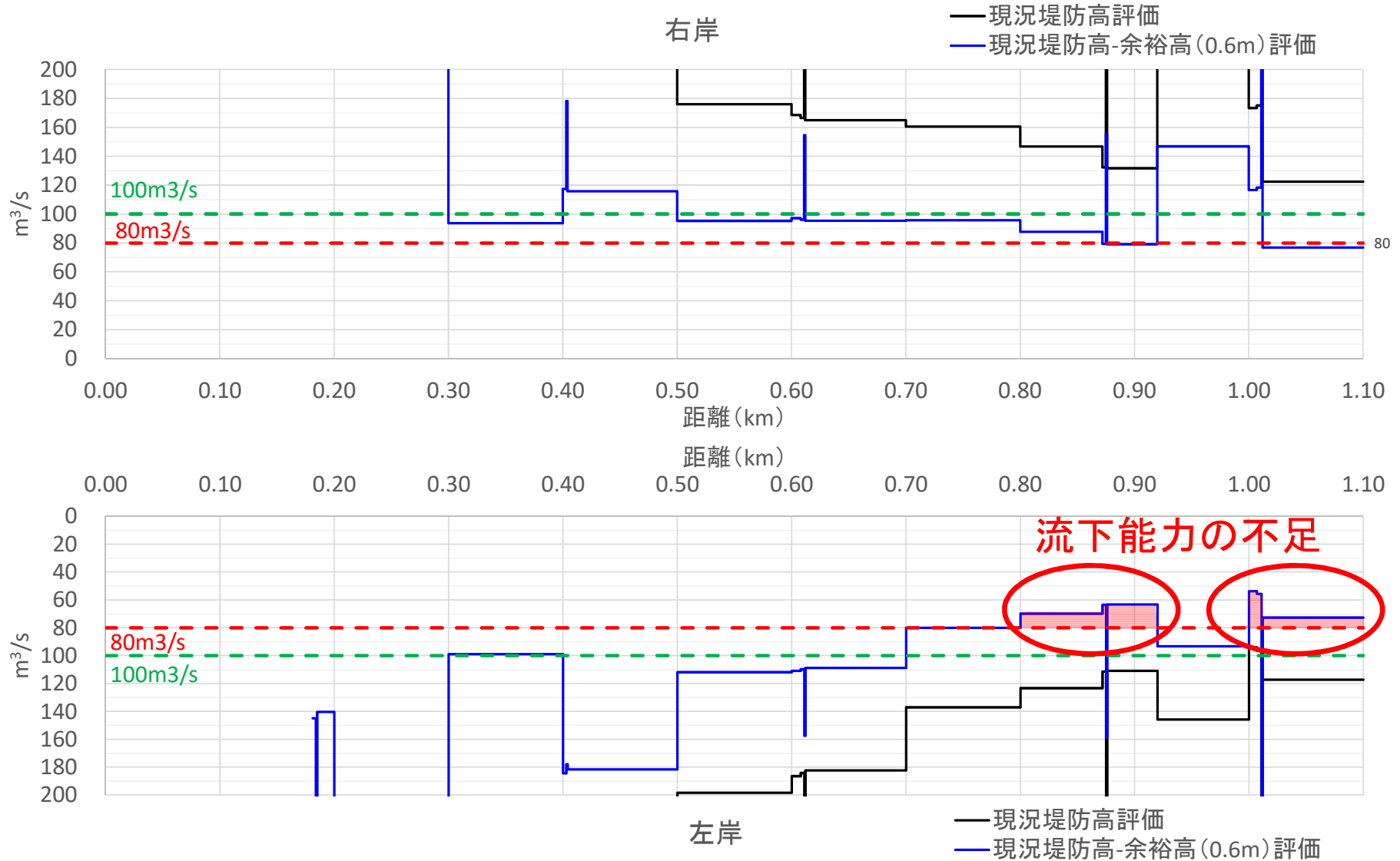
■治水の現状と課題（汁谷川の外水氾濫）



現状：左岸0.8～1.1km付近を除き、概ね80m³/s以上の流下能力がある



課題：左岸0.8～1.1km付近の流下能力の向上（外水氾濫対策）

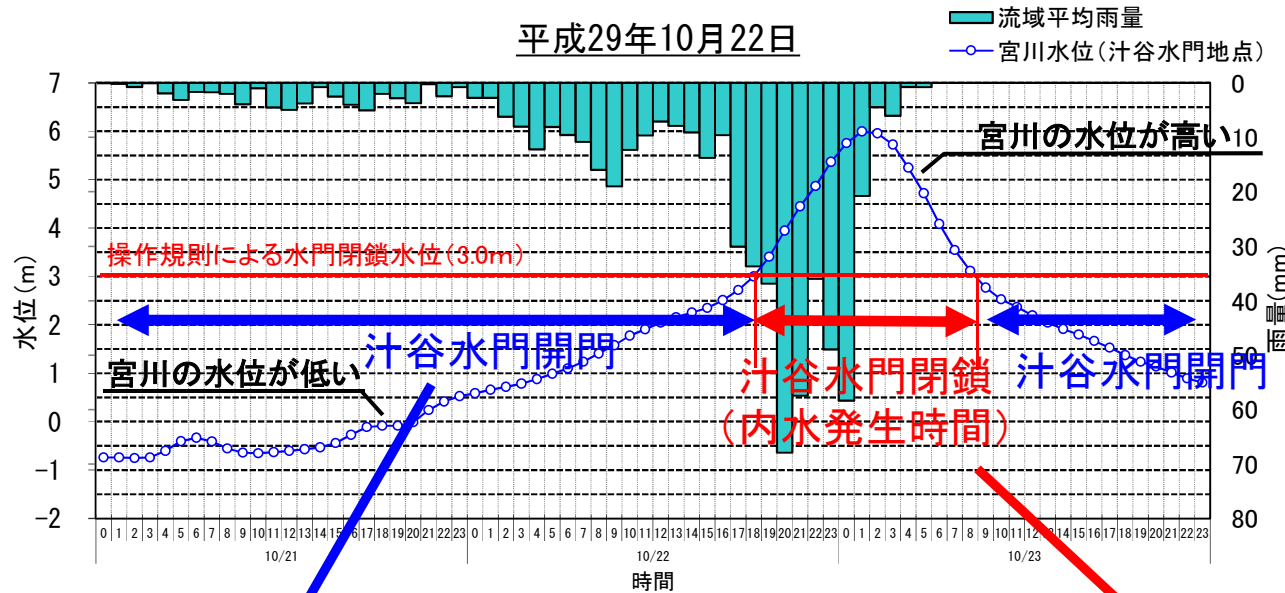


■治水の現状と課題（宮川に対する内水氾濫）

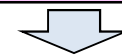
現状：H29.10洪水では、汁谷水門閉鎖時に、浸水被害が発生した



課題：汁谷水門閉鎖時における浸水対策（宮川に対する内水氾濫対策）



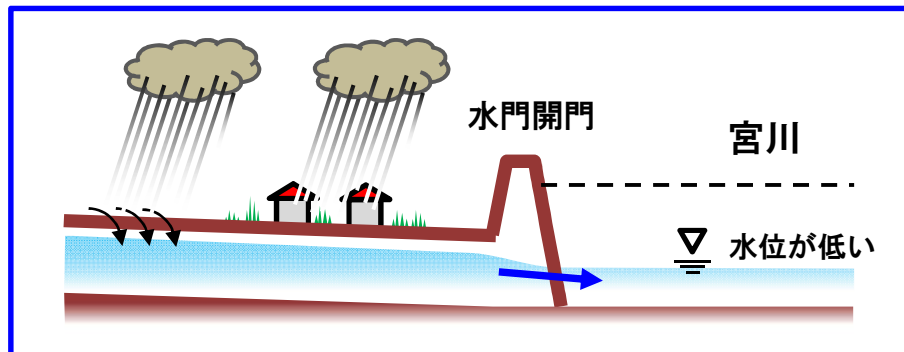
宮川の水位が汁谷川の水門閉鎖水位(3.0m)より上昇



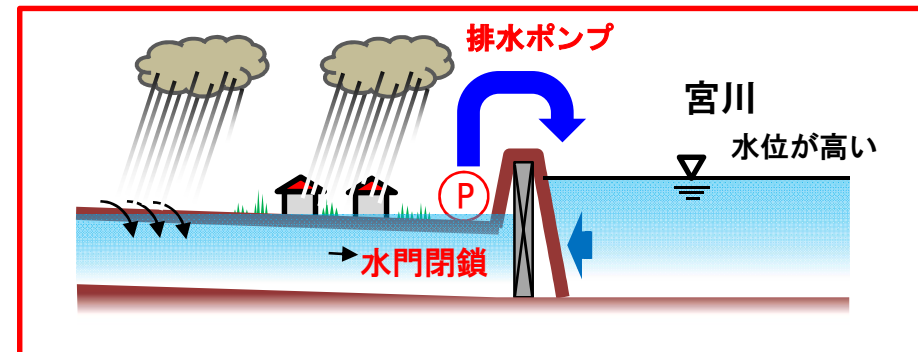
逆流を防止するため水門を閉鎖、既設ポンプ(約13m³/s)により宮川へ排水



ポンプ能力を上回る貯留により、浸水被害が発生



【 開門時 】



【 閉門時 】

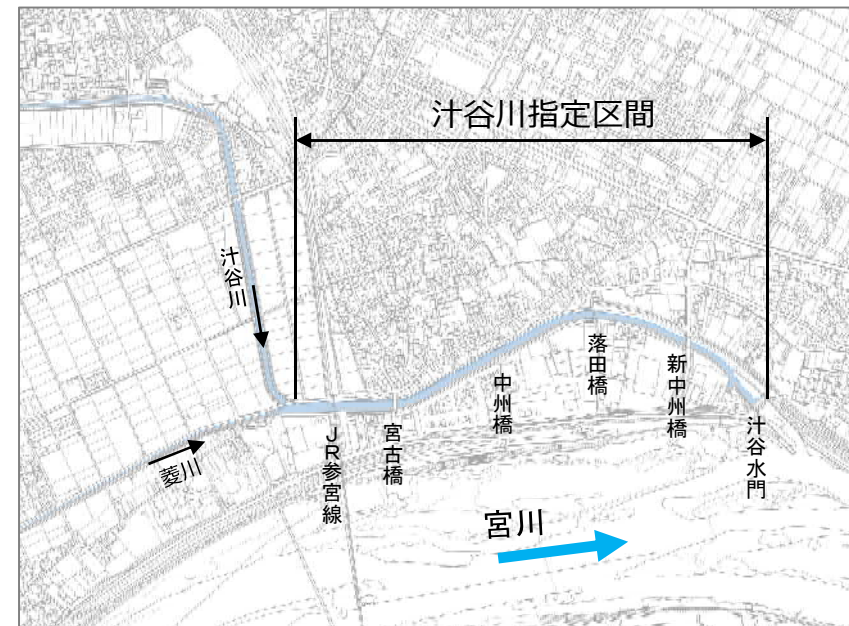
■河川整備計画（原案）の概要（汁谷川）



【河川整備計画の対象区間】

□ 汁谷川の県管理区間とする

河川名	区 間		流路延長 (km)	
	上 流 端	下 流 端		
汁谷川	左岸	伊勢市小俣町字 中ノ川原1435番 の2地先の町道橋	宮川への 合流点	1.160
	右岸			



【河川整備計画の対象期間】

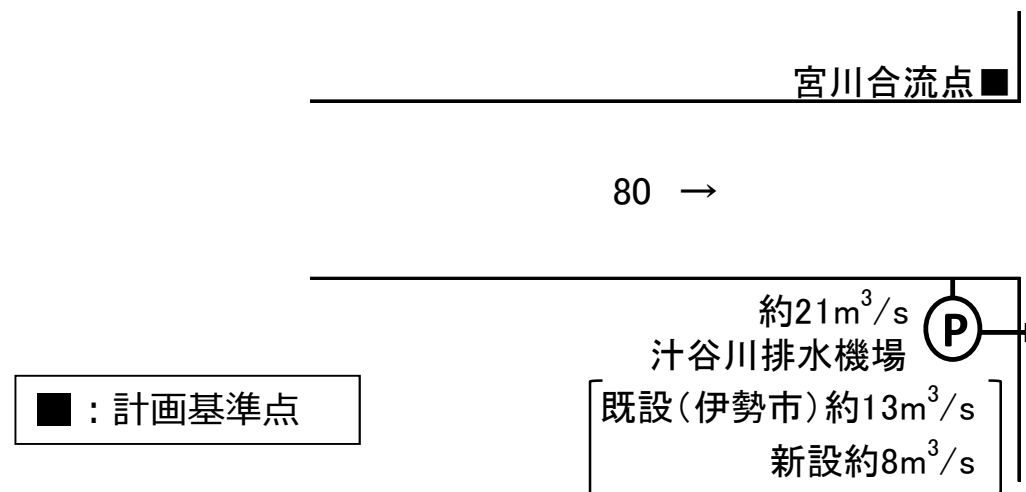
- 宮川水系（指定区間）河川整備計画は、河川整備の当面の目標であり、その計画対象期間は**概ね30年間**とする。⇒現行整備計画と同じ
- 本整備計画は、現時点における流域及び河川の状況に基づき策定されたものであり、今後河川及び流域を取り巻く社会状況の変化などに合わせて、必要に応じて適宜見直しを行っていくものである。

■河川整備計画（原案）の概要（汁谷川）



【洪水・津波・高潮等による災害の防止または軽減に関する目標】

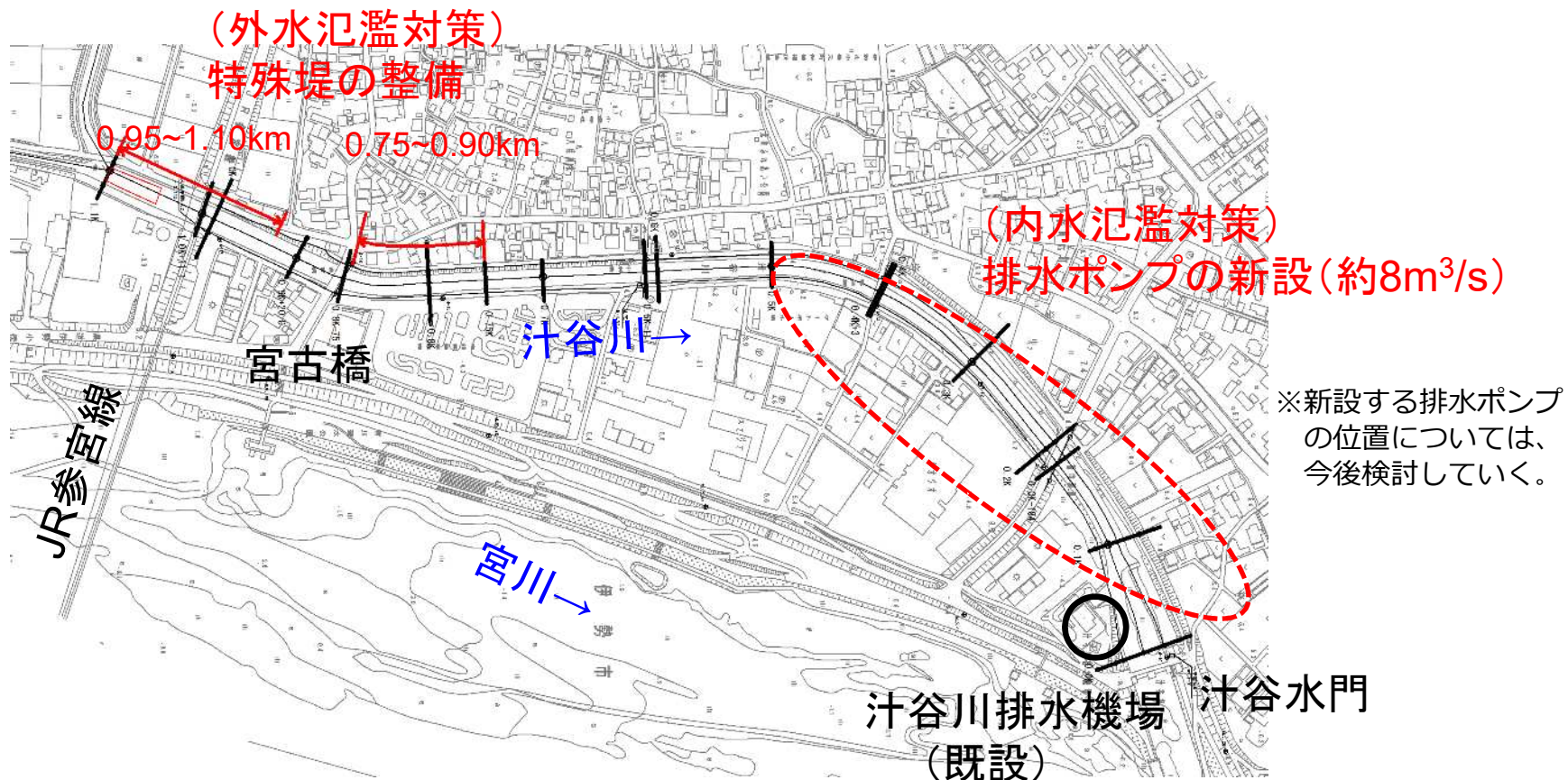
- （外水氾濫対策）本整備計画では、過去の流域内の浸水被害や県内他河川の治水安全度と流域内のバランス等を考慮し、年超過確率1/30の降雨に対して被害を防ぐことを目標とし、基準地点の宮川合流点において $80\text{m}^3/\text{s}$ の流量を安全に流下させる河道を整備する。
- （内水氾濫対策）宮川本川に対する内水氾濫については、伊勢市の下水道排水計画と整合を図り、年超過確率1/10の降雨に対して床上浸水を防ぐことを目標とし、汁谷川排水機場に約 $8\text{m}^3/\text{s}$ の排水ポンプを新設し、約 $13\text{m}^3/\text{s}$ の既存のポンプと合わせて約 $21\text{m}^3/\text{s}$ の排水能力とする。



河川整備計画（原案）の概要（汁谷川）



□ 整備箇所・整備メニュー

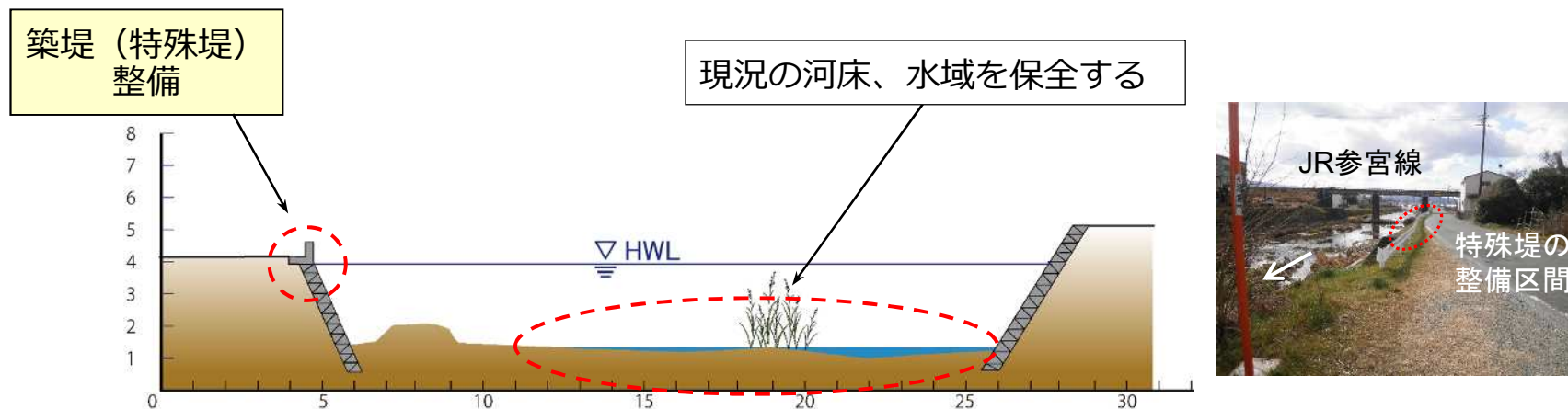


河川整備計画（原案）の概要（汁谷川）



□ 主要工事の概要

- ・外水氾濫対策：築堤（特殊堤）整備により流下能力向上を図る（1.0k地点）



- ・内水氾濫対策：排水ポンプの新設により浸水被害の軽減を図る

